高温強度・破壊力学合同シンポジウム開催報告[†]

川島 扶美子*

Report on the 55th Symposium on Strength of Materials at High Temperatures & the 18th Symposium on Fracture Mechanics

by

Fumiko KAWASHIMA*

高温強度・破壊力学合同シンポジウム(第55回高温強度シンポジウム, 第18回破壊力学シンポジウム)が, 2017年12月7日(木)から9日(土)の日程で, 熊本市くまもと県民交流館パレアで開催されました。高温強度部門委員会と破壊力学部門委員会との合同シンポジウムは, 2011年沖縄県石垣市での開催以来6年ぶりです。

講演は68件, 参加者は146名であり, セッション数は17でした。初日・中日・最終日それぞれが, 高温強度部門セッション, 合同セッション, 破壊力学部門セッションに割り振られていましたが, この敷居はまったく意味をもたず, 参加者は興味のあるセッションに自由に参加し, 会場の椅子が不足したほどの大人数により, 初日から最終日まで活発な質疑応答が交わされました。

12月8日夜には, 熊本市の旅館「和数寄 司館」で, 両部門委員会合同の懇親会が開催され, 77名が参加しました。懇親会中に両部門の受賞者が発表・紹介され, 破壊力学部門のOhji – Ohtsuka – Okamura Award奨励賞を静岡大学の藤井朋之先生が, 高温強度部門の貢献賞, 躍進賞, 功労賞および特別表彰を, それぞれ東北大学の小川和洋先生, 東京工業大学の阪口基己先生,

神戸工業試験場の新田明人氏および神戸工業試験場の高木和夫氏が受賞されました。懇親会は受賞者の皆さまや協賛企業の皆さまのスピーチを交えて和気あいあいと進みました。また, 会場隣のお座敷で九州巡業中の力士の宴会が開催されるというハプニングがあり, 相撲ファンを喜ばせました。

両部門委員会とも, シンポジウムにはベストプレゼンテーション賞を設けており, 30歳未満の若手研究者の中で優れた発表をされた方を表彰しています。今回のシンポジウムでは, 東京工業大学の天野歩さん, 檜垣真奈さん, 鹿児島大学の小畑啓介さんの3名が受賞されました。

なお今回のシンポジウム開催地は, 震災からの復興支援のために熊本市となりました。会場は熊本市中心部にあり, 参加者の皆さまには, 繁華街の賑わいから復興の活気を感じていただけたのではないのでしょうか。また会場は熊本城にほど近く, 会場屋上からは「修理用のレールや櫓に囲まれた熊本城」という希少景観が眺められましたが, 参加者の皆さまはご覧になられましたか。

最後に, 本シンポジウムにご尽力くださった講演者・参加者の皆さま, 協賛企業の皆さま, 材料学会の三島様, 熊本の皆さまに厚くお礼申しあげます。

図1 懇親会での乾杯

図2 ベストプレゼンテーション賞受賞者

[†] 原稿受理 平成29年12月26日 Received Dec. 26, 2017 ©2018 The Society of Materials Science, Japan

* 正会員 熊本大学大学院先端科学研究部観光科学部門機械システム設計研究分野 〒860-8555 熊本市中央区黒髪, Faculty of Advanced Sci. & Tech., Kumamoto Univ., Chuo-ku, Kumamoto, 860-8555